

◆受講者の声（出前研修—DIG 風水害版）

- ・平易な解説だったので理解しやすかったです。
- ・細かく説明がなされ、大変良かった。
- ・質問の趣旨が明らかな面と少し難解な面があったので工夫されると良いと思う。話し合いが中心となり面白い会であった
- ・途中でやるべきことが分からないときがあったので、次に何をやるか明確な指示がほしかった。
- ・地域の地図が細かく、広域過ぎて、小さく見づらかった。
- ・地図の1/4を拡大したら？色つきシールにペンで字が書ければ⇒㊦等のように。
- ・地図が大きい割に使用部分が小さかった（文字が小さく見にくかった）。
- ・一般住民対象では地図の見方がすぐ理解できないことが多いので事前に地域情報（方位、主要道路路線名、河川名）を確認してから作業に入ったほうが良い）
- ・模造紙のところの使い方が分かりづらかった。
- ・さまざまな年代の方が混じていた方が多様な意見が出ると思いました。（女性・男性両方がいればもっと良い。）
- ・最低集落単位2～3名位参加することが良いと感じました。（研修内容の検討）
- ・自治会長さんたち地域の中心的担い手のDIGの次には、若い世代の代表、つまり小中学生、PTA、女性団体も加えたDIGをやった方が良いと思います。
- ・被災弱者（独居老人、障害者等）の考え方などもわかるとより意義のある研修になったと思う。
- ・グループに分けていろんな地域の話し合いができたのですごく良かったです。災害時前に行うこと、災害後にやるべきこと、再度確認したいと思えます。
- ・防災の意識は、こういうことを数多くやって進んでいくものだと思う。やることに無駄ない。
- ・前もってアンケートなどをした資料を作っておいて示すなどしては。
- ・付箋に書いて地図に貼ったものが最後の発表で活かされる研修にすべき。
- ・テキストを読むだけではなかなかイメージがわからないので、毎年テーマを変えて研修すると良いと思う。
- ・もっと地域のことの演習をすべきである。
- ・地域の状況が分かりやすかった。
- ・多くの人に関心を持ってほしいと思う。
- ・「防」→「減」という考えを町全体で認識することが重要だと思いました。
- ・地域内での防災意識高揚の話し合いを早急にしていきたいと思えます。
- ・地元の消防の方の意見も聞いてみたかった。
- ・確かに図上訓練が楽しいというのは重要な要素ですね。